

麦類生育情報 Vol. 2

令和3（2021）年12月24日
芳賀農業振興事務所

・麦踏みを実施し、寒さに強い麦にしましょう！
・湿害対策はしっかりと実施しましょう！

1. 気象概況

11月は気温が高めで、日照時間が多く推移しました。12月上旬も気温は高めでしたが、降水量が多く過湿気味なほ場が見られます。また、関東甲信越地方の3ヶ月予報(令和3年11月24日気象庁発表)では、気温及び降水量は平年並みか平年より低い確率が高いです。ほ場ごとの生育状況をよく確認して、今後の栽培管理をしましょう。

表 真岡市アメダス

	11/11-20	平年差・比	11/21-30	平年差・比	12/1-10	平年差・比
平均気温	9.7℃	+0.3℃	8.1℃	+0.5℃	7.6℃	+2.1℃
降水量	0mm	0%	28mm	122%	92.5mm	605%
日照時間	80.3時間	147%	73.7時間	132%	57.3時間	101%

2. これからの栽培管理

◎麦踏みを実施しましょう

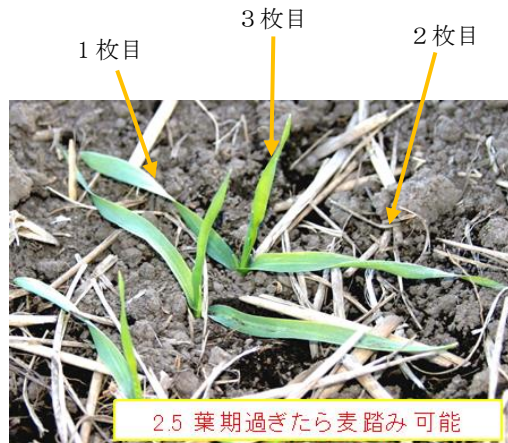
天候やほ場の条件によって、生育にばらつきがでることも考えられるため、しっかり葉齢や土壤水分（靴に土がつかない程度が目安）を確認して麦踏みを行いましょう。

目安：合計3～4回（年内最低1回）

1回目・・・2.5葉期以降

2回目以降は前回の麦踏みの2週間後

年明け後～莖立期直前 2回程度



☑麦踏みの効果

- ① 過剰生育の抑制、②分げつの促進、③根張りの向上、④耐寒性の向上
- ⑤凍上害の防止

なお、麦踏みが不足すると、春先の寒さによる幼穂凍死が助長されるとともに、赤かび病にかかりやすくなります

⚠️注意点

①圧力が強すぎると生育不良になるので、大型トラクター等で行う場合は、接地面積を大きくするように工夫しましょう。

②土壤水分が高いときの麦踏みは土壤が固くなり生育不良を招くので避けましょう。

◎湿害対策を実施しましょう

麦は湿害に弱い作物です。生育期に湿害を受けると分けつが抑制され、減収してしまいます。特に二条大麦では被害が大きくなります。

近年は短時間にまとまった雨が降ることがあります。排水対策をおろそかにすると、ほ場が長時間湛水してしまい、湿害を起こしてしまいます。

☑整備のポイント

- ①明きよの出口は排水溝に接続されていてきちんと排水されるか確認！
- ②溝が土や泥等で埋まっていないか確認！（埋まっていたらさらう）
- ③ほ場周縁部に排水溝がない場合は、明渠を深く掘るなど確実に対策を！



明きよを確実に排水路に繋げましょう！

○雑草防除を忘れずに行いましょう

雑草は、発生初期に防除しないと後々繁茂し、収量の減少や雑草種子混入による品質の低下を招きます。麦の高品質・安定生産を保つためにも、ほ場をよく観察して適宜茎葉処理剤を散布しましょう。

農作物には登録農薬を使用し、使用基準を遵守しましょう！



身支度も
万全にし
てまる！

- ①農薬容器のラベルをよく読み正しく使う
- ②農薬の飛散防止を徹底する
- ③農薬の使用状況を正確に記帳する